

特集

HPV 検査単独法の子宮頸がん検診ってなに？ —理解・準備・社会実装まで—

企画 宮城悦子

1. 子宮頸がん排除に向けた世界戦略 (Cervical Cancer Elimination Initiatives) における
検診の重要性 藤 田 則 子
2. 予防医学先進国における子宮頸がん検診の動向と将来の課題 柴 田 健 雄
3. 日本の子宮頸がん検診の歴史を紐解く 松 浦 祐 介
4. 有効性評価に基づく子宮頸がん検診ガイドライン 2019 年度版のポイント 中 山 富 雄
5. HPV 検査単独法検診に関するエビデンス 黒 川 哲 司
6. HPV 検査キットの特性と海外の HPV 検査単独法アルゴリズム 松 本 光 司
7. 「対策型検診における HPV 検査単独法による子宮頸がん検診マニュアル」のポイント … 森 定 徹
8. HPV 検査単独法による子宮頸がん検診導入を目指す自治体が準備すべきこと 雑 賀 公 美 子
9. HPV 検査単独法の実施に向けた情報提供と活用可能な資材 町 井 涼 子
10. HPV 検査単独法検診について受診者へ伝えるべきこと 齊 藤 英 子
11. HPV 検査単独法における腺癌検出の精度と課題 横 山 正 俊
12. 妊婦の子宮頸がん検診の動向—HPV 検査は推奨される？— 松 永 梨 沙
13. HPV 陽性者の細胞診トリアージの意義と課題 大 河 戸 光 章
14. 横浜市における HPV 検査単独法検診の社会実装の経験からのアドバイス 小 関 聡

産科と婦人科 Vol. 92 No. 10

定価 3,300 円 (本体 3,000 円 + 税 10%)

2025 年 年間予約割引購読料 48,015 円 (消費税込, 送料小社負担)
(増刊号 1 冊を含む年間 13 冊)

○予約購読のお申し込みは、最寄りの医学書取扱書店へ、または
弊社ホームページ、FAX か E-mail でお申し込み下さい(電
話でも結構です)。

発行所 (株) 診断と治療社

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-14-2 山王グランドビル 4F
TEL 03-3580-2770 (営業)

03-3580-2750 (編集) FAX 03-3580-2776

営業部 E-mail: eigyobu@shindan.co.jp

編集部 E-mail: hen@shindan.co.jp

編集委員 / 五十嵐敏雄・石本人士
寺内公一・宮城悦子

編集顧問 / 青木大輔・綾部琢哉
岩下光利・大須賀穰
落合和徳・金山尚裕
佐藤和雄・杉本充弘
高松 潔・武谷雄二
田中 守・谷澤 修
藤井信吾・三橋直樹
峯岸 敬・百枝幹雄
吉川裕之・吉村泰典
若槻明彦・渡部 洋
(50 音順)

編集兼発行人 藤 実 正 太

編集担当 馬場瑞季・島田つかさ・寺町多恵子

印刷所 三報社印刷株式会社

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物の利用に関する原著者の権利は株式会社診断と治療社が保有します。

・**JCOPY** < 出版者著作権管理機構委託出版物 >

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, Fax 03-5244-5089, E-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

・本誌を無断で複製 (複写・スキャン・デジタルデータ化を含みます) する行為は、著作権法上での限られた例外 (「私的使用のための複製」など) を除き禁じられています。大学・病院・企業などにおいて内部的に業務上使用する目的で上記行為を行うことも、私的使用には該当せず違法です。また、私的使用のためであっても、代行業者等の第三者に依頼して上記行為を行うことは違法です。

・『産科と婦人科』は、株式会社診断と治療社の登録商標です。

©2025, Printed in Japan